京都あぐり便り

写真:京都御苑「百日紅」

近畿農政局京都支局
発行：令和3年9月7日

もくじ

Ｐ１‥秋の農作業安全確認運動の実施について
Ｐ２‥令和３年度ジビエフェア参加店舗の募集について /第23回全国農業担い手サミットin茨城の開催について
Ｐ３‥令和２年度食料自給率・食料自給力指標について /農業者向けスマートフォン・アプリケーション（MAFFアプリ）
Ｐ４‥新型コロナウイルス感染症対策に御協力をお願いします

秋の農作業安全確認運動の実施について

令和４年までに農業機械作業に係る死亡者数を平成29年水準（211件）から半減することを目標に、令和２年からの３年間を集中対策期間として対策を強化しているところであり、春（３～５月）と秋（９～10月）に重点期間を設定し、農業機械作業の事故防止に向けた運動を展開しています。

１．重点推進テーマ

『見直そう！農業機械作業の安全対策』

農業機械作業による死亡事故が多発している状態が継続していることを踏まえ、特に死亡事故の発生割合が高い乗用型の農業機械の作業におけるシートベルト・ヘルメットの着用徹底など、農業機械作業の安全対策を見直す運動を全国的に展開しています。

２．主な取組内容

① シートベルト・ヘルメットの着用徹底と、作業機を付けた状態で公道走行する際の灯火器類の設置を集中的に働きかけ
② 安全フレームやシートベルト等が装備されていないトラクターの所有者への追加装備や買い替え等の働きかけ
③ 地域において農作業安全研修の講師などの農作業安全の推進を担う「農作業安全指導員」を全国の各地域で育成
④ 地域の実態を踏まえた労災保険特別加入団体の設置促進、加入促進

３．運動期間

令和3年9月1日（水）～10月31日（日）（2か月間）

４．ウェブサイトアドレス

URL:http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/

５．事務局

農林水産省 農産局技術普及課生産資材対策室（安全指導班）
担当：田中、石川、伊藤 電話：０３－６７４４－２１８２

令和3年度 全国ジビエフェア参加店舗の募集について

農林水産省では、ジビエ（野生鳥獣肉）の全国的な認知向上、普及、需要拡大に向けた取組を行っており、その一環として「全国ジビエフェア」を開催することとし、参加店舗の募集を行っています。

【全国ジビエフェアについて】

期間を設けてジビエのPRを行い消費を促進するとともに、ジビエメニューを提供する飲食店やジビエ商品を販売する店舗等の情報をとりまとめて消費者へ情報提供するものです。
（事業実施主体：株式会社ぐるなび）

開催時期：令和3年11月1日（月曜日）～令和4年2月28日（月曜日）

【参加店舗の募集について】

対象は、ジビエメニューを提供する飲食店や惣菜店、ジビエ商品を扱う小売店やEC事業者等です。以下のホームページで、10月22日（金曜日）までに参加申込みをお願いいたします。なお、フェア期間中でも随時受け付けております。

【ウェブサイトアドレス】

URL:https://www.gibier-fair.jp/entry/（外部リンク）

【お問合せ先】

農林水産省 農村振興局 農村政策部鳥獣対策・農村環境課鳥獣対策室
担当者：鳥獣利活用技術班 木村、荒川、佐藤　ダイヤルイン：03-6744-7176

第23回全国農業担い手サミットin茨城の開催について

本サミットは、農業経営の現況や課題についての認識を深めるとともに、相互研鑽・交流を行うことを目的に開催します。

【開催日】

令和3年11月18日（木曜日）

【開催方法】

オンライン開催
※9月24日までにWEB登録　詳細については、以下のホームページを参照

【ウェブサイトアドレス】（外部リンク）

URL：https://ibaraki-ninaite.jp/

【主催・担当】

第23回全国農業担い手サミットin茨城実行委員会・事務局
担当：大畠、安田、北山、都賀
電話：029－301－3867　Fax：029－301－3937

令和2年度食料自給率・食料自給力指標について

農林水産省は、令和2年度の食料自給率及び食料自給力指標について、令和3年8月25日に公表しました。

食料自給率とは、国内の食料供給に対する食料の国内生産の割合を示す指標です。食料自給力指標とは、国内生産のみでどれだけの食料を最大限生産することが可能かを試算した指標です。詳細については、以下のホームページをご覧ください。

【食料自給率】

①カロリーベース食料自給率

原料の多くを輸入している砂糖、でん粉、油脂類等の消費が減少したものの、米の需要減少や小麦の単収が前年に比べて減少したことにより 37%（前年度 38%）となりました。

②生産額ベース食料自給率

豚肉、鶏肉、野菜、果実等の国内生産額の増加と魚介類、牛肉、鶏肉、豚肉等の輸入額の減少などにより 67%（前年度 66%）となりました。

【食料自給力指標】

米・小麦中心の作付けについては農地面積の減少により、前年度を2kcal/人・日下回る、1,759 kcal/人・日となりました。いも類中心の作付けについては、農地面積の減少やかんしょの単収低下、労働力（延べ労働時間）の減少により、前年度を62kcal/人・日下回る、2,500kcal/人・日となりました。

【ウェブサイトアドレス】

URL:https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/011_2.html

【お問合せ先】

農林水産省 大臣官房政策課 食料安全保障室　ダイヤルイン：03-6744-0487

農業者向けスマートフォン・アプリケーション（MAFFアプリ）

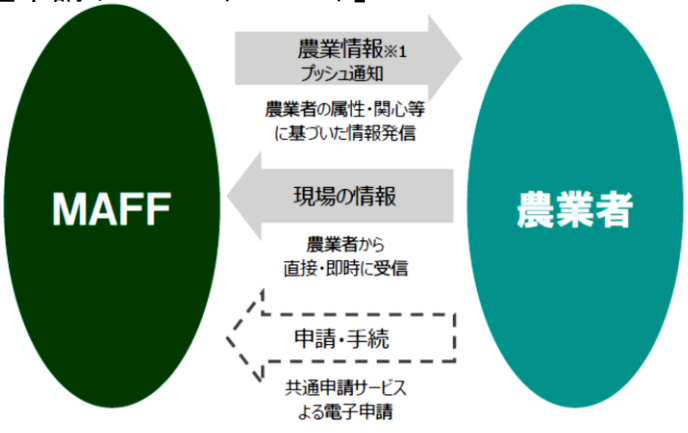
農業者と農林水産省をつなぐ新たなコミュニケーションツール（無料）

【農林水産省から農業に役立つ情報が直接届く】

- ○政策情報等を直接配信
- ○ユーザーの作目や関心事項に応じた記事が届く
- ○大切な情報はプッシュ通知でお知らせ

【現場の情報を農林水産省へ直接届ける】

- ○現場の情報を直接、農林水産省に共有：「マフちょく」
- ○様々な手続・申請をオンラインで可能に：「農林水産省共通申請サービス（eMAFF）」



※1 農林水産省政策情報APIを経由して民間サービスでも受信可能。

ダウンロードは
こちらから
（無料）
（外部リンク）

App Store からダウンロード　Google Play で手に入れよう

【お問合せ先】
農林水産省大臣官房政策課
TEL：03-3502-8448

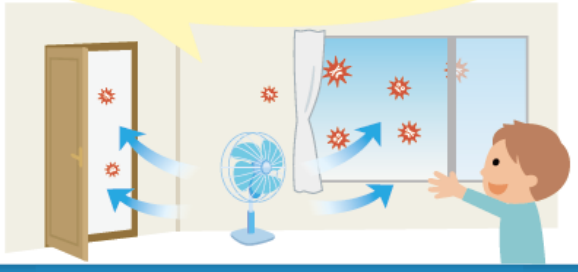
新型コロナウイルス感染症対策に御協力をお願いします

「密閉」「密集」「密接」しない！

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意！

他の人と十分な距離を取る！

窓やドアを開けこまめに換気を！



屋外でも密集するような運動は避けましょう！

少人数の散歩や
ジョギングなどは大丈夫

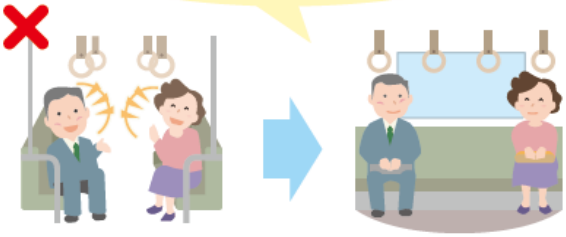
飲食店でも距離を取りましょう！

- 多人数での会食は避ける
- 隣と一つ飛ばしに座る
- 互い違いに座る

会話をするときはマスクをつけましょう！

5分間の会話は
1回の咳と同じ

電車やエレベーターでは会話を慎みましょう！



首相官邸 Prime Minister's Office of Japan　厚生労働省

厚労省　コロナ　検索

■厚生労働省フリーダイヤル

0120-565653

お問合せ先：近畿農政局京都支局
〒602-8054　京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
TEL：075-414-9015　　FAX：075-414-9057
ホームページ：https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/index.html

農林水産省